

平成29年度の原子力防災対策について

1 若狭地域に立地する原子力施設の状況

| | | | | |
|---------------------|-----------|-------|-------------|-------------------------|
| 関西電力(株) | 高浜 発電所 | 1、2号機 | 平成28年6月20日 | 運転期間延長認可 新規制基準適合性審査中 |
| | | 3、4号機 | 平成29年5月17日 | 4号機再稼働 |
| | | | 平成29年6月6日 | 3号機再稼働 |
| 関西電力(株) | 大飯 発電所 | 1、2号機 | | 新規制基準適合性審査申請準備中 |
| | | 3、4号機 | 平成29年9月1日 | 新規制基準適合性審査終了 使用前検査中 |
| 関西電力(株) | 美浜 発電所 | 1、2号機 | 平成27年4月27日 | 運転終了 |
| | | | 平成29年4月19日 | 廃止措置計画認可 |
| | | 3号機 | 平成28年11月16日 | 運転期間延長認可 新規制基準適合性審査中 |
| 日本原子力発電(株) | 敦賀 発電所 | 1号機 | 平成27年4月27日 | 運転終了 |
| | | 2号機 | 平成29年4月19日 | 廃止措置計画認可 新規制基準適合性審査中 |
| (国研) 日本原子力研究開発機構 | ふげん | | 平成15年3月29日 | 運転終了 |
| | | | 平成20年2月12日 | 廃止措置計画認可 |
| | もんじゅ | | 平成28年12月21日 | 廃炉方針決定 (原子力関係閣僚会議) |
| | | | 平成29年12月6日 | 廃止措置計画認可申請 |

2 平成29年度における本県の原子力防災対策

(1) これまでの取組

① 「大飯地域の緊急時対応」の取りまとめ(資料4-2)

「緊急時対応」：避難計画を含むその地域の緊急時における対応(要配慮者対策、避難先や移動手段の確保、国の実動組織の支援等)を取りまとめたもの

取りまとめ主体：福井エリア地域原子力防災協議会

<構成員> 国(内閣府を始め関係府省庁)、関係府県(福井県、京都府、滋賀県)

<オブザーバー> 高島市を始め関係市町、関西広域連合 等

| | | |
|-------|--------|-----------------------------------|
| 平成28年 | 1月～ | 14回の分科会で案の検討・取りまとめ |
| 平成29年 | 10月25日 | 福井エリア地域原子力防災協議会において策定 |
| | 10月27日 | 内閣府が原子力防災会議に報告(了承) |
| | 11月23日 | 県・高島市(説明：国、事業者)が住民説明会を開催し、関係住民に周知 |
| | 11月26日 | 内閣府特命担当大臣(原子力防災)・知事会談 |
| | 11月28日 | 滋賀県原子力安全対策連絡協議会を開催し、全市町と共有 |

② 原子力防災実動訓練

目的：屋内退避・避難、スクリーニングおよび緊急被ばく医療に係る手順の確認・検証ならびに地域住民の原子力防災対策に係る意識・理解の向上

実施日：11月19日（日）

主催：県・長浜市

対象：長浜市永原小学校区（参加住民 269人、防災業務従事者 206人）

訓練想定：関西電力(株)美浜発電所3号機において事故が発生。長浜市内のUPZ内一部地域において、空間放射線量率の実測値が $20\mu\text{Sv/h}$ （1週間以内に一時移転）を超過

訓練項目：・住民屋内退避

・住民避難、避難用バスの手配、バスによる住民避難

・避難中継所（スクリーニング会場）の設置・運営、消防救急車両による傷病者の医療機関への搬送 など

主な成果：・湖北体育館（一時集合場所から避難場所までの経路上に立地）のスクリーニング会場としての機能性および利便性を確認

・スクリーニングに初めてゲートモニタ（3台）を活用したことにより、大幅に時間を短縮。住民への負担軽減に寄与。

（参考）所要時間の比較（人のスクリーニング）

ゲートモニタ：約20秒/人、GMサーベイメータ：約3分/人

主な課題：・ゲートモニタでのスクリーニングに関し、検査を待つ住民の待機位置など会場レイアウトの検討が必要

・より安全で円滑な避難ができるよう、避難を支援する防災業務従事者に対して、更なるリスクコミュニケーションが必要

③ 滋賀県原子力防災専門会議の開催

開催日：11月28日（火）

議事：・観光客等一時滞在者への情報伝達手段および内容について

・滋賀県原子力防災実動訓練の結果報告

④ 滋賀県原子力安全対策連絡協議会の開催

○第1回

開催日：6月1日（木）

議事：・大飯発電所の安全審査について

・大飯発電所および高浜発電所の安全対策について

○第2回

開催日：11月28日（火）

議事：・大飯発電所の安全審査について

・大飯発電所の安全対策について

・大飯地域および高浜地域の緊急時対応について

・国のエネルギー政策について

⑤ 原子力安全協定の締結（資料４－３）

高島市が、高浜発電所に係る原子力安全協定を関西電力(株)と締結（９月２７日）。
これにより、県・長浜市・高島市は、地域にUPZを含む全ての原子力施設について安全協定を締結。

⑥ リスクコミュニケーションの取組

原子力災害時に県民の皆さんに冷静・適切に行動いただくため、原子力防災等に対する理解の向上を目的として実施。

- ・放射線実験教室：小学生（高学年）・中学生、保護者／８月１日開催／４１名
- ・出前講座：１５回（住民対象８回、行政職員対象７回）／４２６名（１１月末現在）
- ・モニタリング実務研修会：行政職員対象に４回実施／６７名

(2) 今後の予定

① モニタリングポストの増設

環境放射線の観測体制強化を図るため、モニタリングポスト（電子式線量計）を
１５基増設（平成２４年度 ６基設置）

内 訳：長浜市内 ８基、高島市内 ７基

完了予定：平成３０年３月

② 本部事務局運営訓練・緊急時モニタリング訓練

目 的：原子力防災に係る対応マニュアル等に定められた対応手順の確認・検証
ならびに職員の能力向上

訓練想定：関西電力(株)美浜発電所３号機において事故が発生。長浜市内のUPZ
内一部地域において、空間放射線量率の実測値が $0.5\mu\text{Sv/h}$ （環境試料
の採取）、 $20\mu\text{Sv/h}$ （１週間以内に一時移転）を超過

訓練項目：・防護措置（屋内退避、一時移転、飲食物の摂取制限）の実施方針決定
・緊急時モニタリングの実施区域および項目の決定
・空間放射線量率の測定および環境試料の採取 など

実施予定：１月３１日（水）、２月１日（木）

③ リスクコミュニケーションの推進

（１月下旬頃）原子力防災講演会

（１月下旬頃）リスクコミュニケーション研修会（行政職員対象）

④ 地域防災計画等の修正

原子力防災訓練の結果検証等を踏まえ、地域防災計画（原子力災害対策編）、原子力災害に係る滋賀県広域避難計画、滋賀県緊急時モニタリング計画および滋賀県原子力防災初動対応マニュアルについて、必要な修正を行う。